

事務事業マネジメントシート(平成28年度実績と平成29年度計画)

平成29年 5月19日更新

事務事業名	総合健康センター施設維持管理事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input checked="" type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	1	自治の健康		所属部	政策部	課長名 松田 勝
	施策	2	行政改革の推進		所属課	商工振興課	担当者名 村上 淳二
	施策の柱	12	公有財産の管理運営		所属班	商工振興班	(内線) 1274
予算科目	会計一般	款 7	項 1	目 2	事業連番 11284	根拠法令 合志市総合健康センター「ユーパレス弁天」条例	合志市総合健康センター「ユーパレス弁天」指定管理者協定書
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 28年度で終了 <input type="checkbox"/> 28年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)	

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	平成13年7月、西合志町総合ふれあい健康センター「ユーパレス弁天」が開館。(管理運営業務を櫛にしごうしに委託) 地方自治法改正に伴い、管理委託制度から指定管理者制度に移行し、第1回目の指定管理者協定を櫛にしごうしと平成18年8月~平成21年9月の期間で締結した。 ○合志市総合健康センター「ユーパレス弁天」の管理運営業務についての助言及び経営状況確認 ○指定管理者協定書に基づく、合志市総合健康センター「ユーパレス弁天」の施設維持管理事業。 ○現指定管理期間は、平成21年10月~平成24年3月であり、平成23年度に指定管理者更新を行い、引き続き櫛にしごうしを平成24年4月から平成26年3月までの2年間、指定管理者として指定した。 ○平成23年度に「大規模改修検討委員会」を開催し、開館後10年経過し老朽化が著しい施設の大規模改修の内容を検討した。 ○平成24年度に「大規模改修検討委員会」の答申に基づき、改修設計委託業務を行った。 ○平成25年度に大規模改修工事を行った。また、指定管理者選定を行ない平成30年度までの新たな管理者を指定した。 ○平成26年度から、新たな指定管理者による運営が行われている。
【業務の流れ】	指定管理者指定 → 指定管理協定書の締結 → 協定書に基づく管理運営業務の助言 → 年次業務報告書に基づく経営状況確認 ○施設の修繕等については、管理協定書に基づき30万円以上の修繕費について、指定管理者より協議書が提出される。それに基づき、審査を行い公益上必要と認められるものについて、修繕費の負担を行なう。 ○大規模な施設の修繕については、年次計画により市が直接工事を行なっている。
【主な予算費目】	委託料、工事請負費、負担金補助及び交付金
【意見や要望】	

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 28年度実績(28年度に行った主な活動) (DO)	・ 指定管理者の管理運営委員会への出席 ・ 指定管理協定に基づく指定管理者へ委託料の支払	29年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN) 経年劣化に伴う機械設備の改修工事
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 件 ア: 修理箇所 イ: 修理等金額	予算の主な増減の理由 購入が必要な備品の減に伴う備品購入費の減
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 合志市総合健康センター「ユーパレス弁天」施設利用者	(単位) 千人 ア: 来館者 イ:	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) ア: 来館者 千人 イ:
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 利便性・安全性を確保する	(単位) % ア: 修理済箇所数/要修理箇所数 イ: 苦情・要望の対応件数/苦情・要望の総数	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) ア: 修理済箇所数/要修理箇所数 % イ: 苦情・要望の対応件数/苦情・要望の総数 %
*③成果指標設定の理由と29年度目標値設定の根拠 利便性・安全性の確保につながる施設修理済箇所の割合及びお客からの苦情・要望対応件数割合とした。施設大規模改修工事が終了すれば、施設の要修繕箇所はなくなる。また、お客の苦情や要望等で施設の老朽化に伴うものに対応できるため、平成25年度からは、施設修理済み箇所割合は100%、苦情・要望の対応件数割合は80%と設定した。		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	26年度 実績(決算)	27年度 実績(決算)	28年度 目標(当初予算)	28年度 実績(決算)	29年度 目標(当初予算)	30年度 予定	31年度 見込	32年度 見込
① 活動指標	ア 件		6	8	3	8	3	3	3	3
	イ 千円		7,273	6,105	12,960	13,061	9,560	18,000	300,000	10,000
	ア 千人		497	389	530	542	530	530	530	530
② 対象指標	イ									
	ア %		100	100	90	100	80	80	80	80
③ 成果指標	イ %		100	100	80	100	80	80	80	80
	イ %		100	100	80	100	80	80	80	80
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円				689			
		繰入金	千円							
	一般財源	一般財源	千円	23,821	15,440	22,253	25,051	16,427	20,000	300,000
		(A) 事業費計	千円	23,821	15,440	22,253	25,740	16,427	20,000	300,000
		(A)のうち指定経費	千円	35	1,338	35	35	35	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(B) 人件費計	千円	717	816	1,593	0	1,195	1,195	2,390
人件費	正職員従事人数	人	3	3	2	4	2	2	3	
延べ業務時間	時間	180	220	400	1,160	300	300	600		
トータルコスト(A)+(B)	千円	24,538	16,256	23,846	25,740	17,622	21,195	302,390		

事務事業名	総合健康センター施設維持管理事業	所属部	政策部	所属課	商工振興課
-------	------------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は28年度の事後評価、ただし複数年度事業は28年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①28年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した 適切に改修工事を実施し、対応したため。	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②29年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 施設の老朽化が進んでいるが、点検を徹底し、改修の必要性がある部分を洗い出し、計画的に改修を実施することで、適切な維持管理を行なうことができる。	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 施設の老朽化に伴い、今後施設の維持管理上の修繕要望は予想されるため向上の余地はある。	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 施設運営については専門的な管理技術が必要であり、指定管理者へ委託を行ったため他の方法はない。	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 指定管理委託料については、創意工夫を生かした管理者による運営により、指定管理期間の5年をかけて少しずつ減少させていくところである。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 指定管理者と打合せながら業務を進めるため、必要最低限の人員であり、削減余地はない。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 利用者は、サービスの対価として利用料金を支払うため公平公正である。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 市の施設であるため、その施設の維持管理は当然行政が行なわねばならない。	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括 (CHECK)

30万円を超える工事に関しては本市が行なうこととなっており、指定管理者と連携を取りながら、改修箇所の確認と改修工事を行い、適切な施設管理を行なうことができた。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可

- 廃止 休止 目的再設定 事業統廃合・連携 事業のやり方改善 (有効性改善)
事業のやり方改善 (効率性改善) 事業のやり方改善 (公平性改善)
現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)

(2) 改革・改善による期待成果
(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持		○	
	低下			

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策